

「学習用端末(タブレット)」の有効活用について



秋山 幸子 議員



質問…本市では、小中学校の児童生徒に学習用端末(タブレット)を1人1台貸与しています。不登校やヤングケアラーの児童生徒とのコミュニケーションツールとして有効活用する考えがあるか伺います。

答弁…不登校については、家庭訪問をしても直接会話をすることができない不登校生徒に対し、保護者と連携を図りながら、

学習用端末を使って教職員とコミュニケーションを図っている学校があります。今後は、研修会等に於いて有効活用している事例を紹介するなど、全小中学校に周知し、有効活用していきます。ヤングケアラーについては、本市全校に於いて学習用端末を使って毎日健康観察を実施しています。児童生徒の声にならない気持ちを毎日確認してい

くことで、ヤングケアラーの早期発見にもつなげています。ヤングケアラーの児童生徒に対しても、不登校児童生徒と同様に学習用端末でつながることは、コミュニケーションツールとして有効であると考えていますので、今後活用方法について十分検討を重ね、前向きに推進していきます。

一般質問



滝田 一郎 議員



主要地方道大田原氏家線親園佐久山バイパスについて

質問…進捗状況、予算執行状況、市道接続等について伺います。

答弁…主要地方道矢板那珂川線から市道ライズライン親園線までの2,200メートルの整備を進めています。令和4年度は橋梁の上部工を発注するとともに、今渇水期に箒川を渡河する橋梁における最後の橋脚を完成させます。今後は残る用地の取得や道路改良工事等を推進し、

令和7年度末までに供用開始を予定しています。次に、バイパスと市道との接続において箒川右岸側は4路線で、3路線は佐久山バイパスのアンダーパスとなり、佐久山7号線は取付道路

が新設されます。箒川左岸側、ライズライン親園線までの区間は市道が3路線あり全て平面交差となります。

質問…バイパス側溝から落水さ

れる佐久山川が確実に下流に流れるように、簡易な土管の橋をボックスカルバートあるいは通常の橋にできないか伺います。
答弁…道路事業の中では断面改修を行うことはできませんが今後質問の箇所及び下流域は県と協議を行いながら断面改修、状況によっては佐久山川の河川改修について要望します。